

RYUDAI COIL POST

世界展開力強化事業きまぐれニュースレター

2020年 11月・12月 | 第8号



1 海外学生へ 沖縄の良さを

#学生交流 #Zoom #学生交流 #沖縄紹介 #COIL

工学部の和田知久先生が2020年後期の「技術英語II」の授業で琉球大学の学生がパラオの学生に沖縄の観光地や名産品を英語で紹介する動画を作成、発表させるCOIL授業を行いました。琉球大学の学生の説明動画では有名な観光地から地元の食堂まで幅広い動画が紹介され、パラオの学生からも様々な質問があり、直接学生が答えるなど、沖縄に関心を持ってもらうきっかけとなりました。

次回はパラオの観光地や名産地を紹介してもらい、琉球大学の学生からパラオの学生が作成した動画に質問をしていくことで沖縄とパラオの異文化を相互理解していく予定です。

事業およびイベント等の
詳細につきましては
随時、世界展開力強化
事業HPやSNSで
発信してまいります

発行元
グローバル教育支援機構
開発室

EMAIL:
R-SEKATEN@ACS.
U-RYUKYU.AC.JP



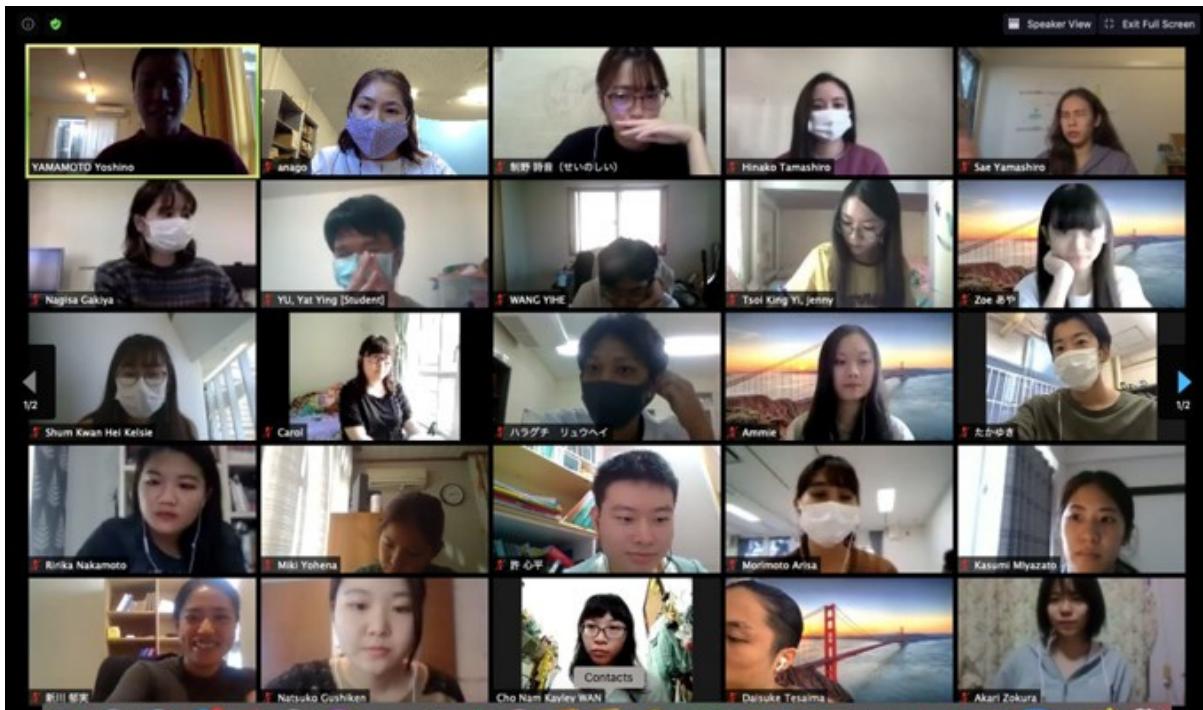
INSTAGRAM



FACEBOOK

2 「香港理工大学の日本語クラスと国際共修」

#異文化理解 #シンクロ型COIL #香港理工大学 #言語学習



山元淑乃先生(国際教育支援部門・留学生ユニット)がオムニバスで担当する2020年度後期「日本語学概説Ⅱ」(木4)の授業で、香港理工大学の日本語副専攻のクラスとZoomで結んだCOIL授業が行われました。

本学の学生21名、香港理工大学の学生40人以上が参加し、ブレイクアウト機能を使って4~5名ずつのディスカッションチームに分かれ、協働学習が行われました。

日本語の条件を表す表現の使い方について、事前に選択問題形式のワークシートと解答が両方の学生に渡され、授業では「なぜこの答えが正解で、他の選択肢は不正解なのか」を追求し、例文を交えながら文法規則を発見すべくディスカッションを行いました。

授業中はどのグループでも学生間で活発な意見交換が行われ、お互いにCOVID-19による日常生活や観光への影響などについても質問し合い、理解を深め合い、双方の学生たちがリラックスした雰囲気で協働学習を行うことができました。

香港の学生からは「日本語の微妙な言い回しなど難しい部分もあったが、学生たちが例文を挙げて教えてくれたおかげで楽しく学べた」「日本の学生と話をしたことで、コロナが治まったら日本に遊びに行きたいと思った」と大変好評でした。

本学の学生からは「将来機会があればアジア圏での日本語教師の職につきたいと思うようになった」「日本語を教えることの楽しさを感じ、香港の学生さん達の温かさ、日本に対する熱い想い、日本と香港の文化の違い、また個人の様々な会話を通して素敵な時間を過ごし、お互いに様々な事をシェアし楽しむことができた」

「海外で学ぶ日本語学習者の苦悩やモチベーションを保つためのマインドが見えた」などの意見が聞かれ、双方にとって、貴重な深い学びの機会となりました。